

認知症施策の推進について

1 認知症支援推進員

平成30年から市役所内に、令和3年度には市内地域包括支援センターのすべてに各1名以上の認知症支援推進員が配置されたことになった。月1回の情報交換をはじめ、認知症にかかわる事業への意見や運営を担い、医療・介護等の連携強化による地域における支援体制の構築と認知症ケアの向上に努めている。

【令和3年度の取り組み】

認知症安全ガイド(認知症ケアパス)の作成、認知症講演会の企画、おたがいさまねっと通信の企画、おれんじスペースの啓発

2 認知症初期集中支援チーム

平成28年7月より済衆館病院に事業委託を行い、40歳以上で介護サービスや医療に繋がっていない人や治療が中断している人、症状が不安定な人に専門家が家庭に出向き相談に応じている。

【平成31年度実績】年間実支援者数29名、訪問延べ回数38回

【令和2年度実績】年間実支援者数13名、訪問延べ回数27回

3 認知症に関わる市の制度及び取り組み実績

(1) おたがいさまねっとメール登録・配信

→登録者数:641名(R4.3現在)

(2) おれんじスペースの登録

→登録数:41件(R4.3現在)

(3) ほっとひといきりフレッシュ(介護者支援)

→年間12回(西部地域6回、東部地域6回を各月で実施)

(4) 認知症講演会(年1回開催)

→「認知症と共に生きる～済衆館病院認知症疾患医療センターの役割～」

令和3年10月6日(水)名古屋芸術大学アーツスクエア大ホール

参加者:198名(R4.3現在)

(5) 徘徊高齢者等事前登録制度

→登録者数:85名(R4.3現在)

(6) 認知症高齢者等個人賠償責任保険の加入助成

→登録者数:33名(R4.3現在)

(7) 認知症高齢者等見守りサポート

→登録者数:13名(R4.3現在)